



特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブライフ・クラブ
 事務局:大阪市中央区常盤町2-1-8親和ビル4階 〒540-0028
 電話06-6941-5448(代表) FAX06-6941-5130
 ホームページ <http://nalc.jp> 毎月1回 10日発行
 Eメール編集室...kaiho@nalc.jp

法人ナルクとしての成年後見がスタート

茨木・摂津拠点で任意後見を受託

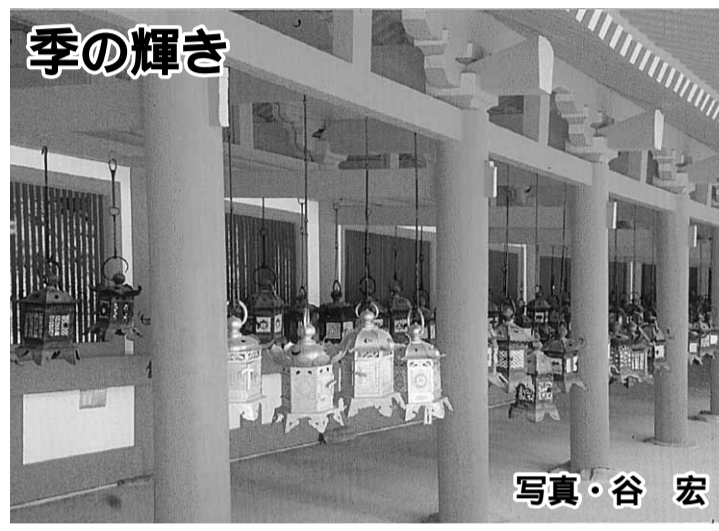
ナルク本部では、時間預託の「助け合い活動」の延長線上に「市民(成年)後見人制度」があるという考え方の上にたち、今後高齢者が増える中で、ますます後見人制度は重要性が増してくると判断し、昨年度は関西と関東で「ナルク市民(成年)後見人養成講座」を実施した。両会場とも申し込みが殺到し、多くの人が研修後ナルクの市民後見人に登録された。

「茨木・摂津拠点」では、従来から生活支援を続けてきたMさん(87歳・女性)との間に「成年後見人制度による委任契約」が成立し、ナルクの市民後見人第1号として、生涯にわたり支援を続けることが決った。つまりMさんは元気なうちに「今後判断能力がなくなつたときには、私の財産や身の回りのことを私の意を汲んでくれるナルクにお任せします」という契約を結んだのである。今後これをお手本として、各拠点でナルクの市民後見人が続々と活動することを願って茨木のケースを探ってみよう。

今までの経緯
 「茨木・摂津拠点」がMさんの支援を始めて10年になる。彼女が股関節骨折で入院した際、その退院時の支援を要請されたことからお付き合いが始まった。10年間、多くの会員が担当として携わってきたが、現在は池原洋志さん(現拠点代表)が担当である。

Mさんは未婚のまま一人暮らしを続けている。本籍は和歌山県だが、今は全く健康状態は良好だが、かなりの難聴である。手押し車を押しての買い物などは出かけられるが、記憶力の低下や認知症の兆候も見受けられるので、池原さんは病院での正式な診断が必要と考え、専門医を受診した。

反面、絵画の趣味を持ち、抽象画・具象画などに今も健康を振るわれている。そんなMさんだ。3月と4月の2ヵ月



季の輝き
 ナルク初の市民後見がスタート
 運営委員会では、Mさんが古い会員であること、池原さんをはじめ多くの委員がナルクの「成年後見制度」の講習を受けており、制度に対する基礎知識が十分にあったこともあり、すんなりと「拠点として市民後見に踏み切るうではないか」という結論に達した。それからの行動は早かった。4月12日に本部で

①は事務的な手続きの問題だが、②の市民後見の問題は、ナルクとしても初めての取り組みになる。色々な角度からの検討が必要だった。ナルク初の市民後見がスタート
 運営委員会では、Mさんが古い会員であること、池原さんをはじめ多くの委員がナルクの「成年後見制度」の講習を受けており、制度に対する基礎知識が十分にあったこともあり、すんなりと「拠点として市民後見に踏み切るうではないか」という結論に達した。それからの行動は早かった。4月12日に本部で

6月8日、高槻公証役場で「委任契約及び後見契約公正証書」の署名捺印を行い、正式に市民後見がスタートした。その間に生活保護の申請も受理され、Mさんは新たな生活のスタートを切ることにした。
お元気で活発な87歳の老婦人
 6月の下旬に、拠点事務所Mさんにお会いすることができた。明朗、闊達な老婦人だった。かなりの難聴と言うことで右側に座った池原さんが通訳の役を引き受けてくれた。前代表の山田稔さんも同席、話しはナルク談義から始まった。「私は人生の節目々々で、色々助けてくれた人に出会ってきた。今後はナルクがなければ今の私はありません」
 もちろんMさんは市民後見の詳しいことは分からない、ただ今の自分にとって

藤岡副会長、久保司法書士(富田林拠点代表)、山田稔理事らが集まり、次の事項を確認した。
 ①会員支援活動の延長線として取り組み
 ②委任契約でスタート、受任者はNPO法人ナルクとし、池原拠点代表が実務を代行する。
 ③後見の中心は日常生活に必要な金銭の管理、施設への入退所契約、医療機関との契約などとする。
 ④委任契約及び任意後見契約書は、高槻公証役場で作成・登記する。

「6年ほど前、ある画廊の仲介でニューヨークで個展を開いたんです」と、いきなり海外の話になりド肝を抜かれた。その作品を見せられたが、いずれも素人の域を超えた立派な作品だった。聞けば30代の頃、朝日カルチャーセンターで本格的な絵画の指導を受けたらしい。今でも毎日2時間程度は絵筆を握っているとのこと。
 池原さんは、委任契約が完了したこれからが本格的後見の始まりという。「今後の流れとしては現在の『委任契約』を家裁に申し立てて『任意後見契約』に切り替える必要があります。この段階で社協に後見監督人をお願いするということになります。」
 Mさんは認知症の兆候が見られるとはいえ、当然、誇りを保持して生活をしていられたいです。生活保護の申請に当たっては、彼女の尊厳を傷つけることのないよう、細心の注意を払いました。



ニューヨークの個展に出したMさんの作品

「子供たちが目を輝かせて野菜作りを励む姿がたまらなく嬉しい。時々ナルクの会員が手伝ってくれるので助かる」と話してくれた。内山順子園長は「採れた野菜は給食に廻し、天ぷらや煮付けにして食べさせると喜んで食べてくれる。野菜嫌いの子が野菜好きになるなど教育的効果が出て、道でも注目されている」と胸を張った。(高畑敬一)

しかし今回の手続きの中で私が強く感じたのは、国の経済的支援が全く不十分だと言うことです。最低限「ナルクの市民後見」がボランティアではなく、事業として成り立つような措置が必要ではないでしょうか、と池原さんは語っている。

喜々快々
 北海道帯広市は、暮盤の目のように整備された道路の幅が札幌よりもはるかに広くとられていて、見るからに清々しい。その一角に市立の保育所があった。開設して5年しか経っていないが園児が200名を超え、園内には野菜畑が作られ、ピート、人参、トウモロコシ、茄子、ほうれん草、アスパラガスなどが植えられている。全て園児たちが種をまき、水をやり、草取りをして育てたもの。野菜の傍らに園児の名前を書いた札が立てられている。指導しているのがナルク十勝の佐藤副代表。ほとんど毎日畑に足を運んで、園児との共同作業に当たっている。「子供たちが目を輝かせて野菜作りを励む姿がたまらなく嬉しい。時々ナルクの会員が手伝ってくれるので助かる」と話してくれた。内山順子園長は「採れた野菜は給食に廻し、天ぷらや煮付けにして食べさせると喜んで食べてくれる。野菜嫌いの子が野菜好きになるなど教育的効果が出て、道でも注目されている」と胸を張った。(高畑敬一)

金沢市立高岡中学がナルクを見学 高齢者疑似体験にチャレンジ

6月23日、金沢市立高岡中学の一行が修学旅行のプログラムの一環としてナルクを訪れた。



高岡中学は人類の幸福に寄与する人間となるための基礎を...

人間が歳を取るといかに日常生活が大変かと言つことを学習した。受講した生徒たちは口々に「おじいちゃんやおばあちゃんに日頃こんなに苦労して生活しているのがよく分かりました」と語っていた。

ナルク・スイスの会報から

事務局 広報 時間預託システムで遠距離介護を実現するナルクス イス支部では、ケアの必要...

ボランティアの喜びの記

ナルクの元気なパワーに接して

奈良拠点 門田善子

ナルクのボランティアでいるんな方に接することができ、その中でもお歳をものともしないで強く生きておられる方々のパワーに驚き感心し、これからの自分を考えさせられています。

先日、お話相手や散歩などで何っている九十六歳の中山さん(多分拠点で一番高齢だと思われる)からお電話がかかってきました。「門田さんですか?」「はい、そうです」「私に何かお手伝いすることはありますか?」「わたし「えっ!」どの

ようなこと?」「中山さん「留守番など...電話くらいとれます、猫よりましでしょう...」私は一瞬何か込みあげてきて言葉がまみませんでした。今の世の中、自分の事しか考えない、自分さえ良ければいいという風潮のなかで、ご高齢にも関わらず、なお人のために尽くそうとされるそのお気持ちに頭が下がる思いでした。

お独り住まいで身の回りのことはほとんど自分でされ、眼も耳もよく電話もはっきり聞こえ、会報も隅から隅まで読まれています。話題も豊富で色々なことを教えていただき、お花や自然の様子を聞きながら散歩しているうちにあつというまに時間が経ってしまします。



96歳の中山さんを囲んで前列右端が筆者

「ナルク奈良」の中では、まだまだお元気で活躍されている方々が多いです。健康な体で思い切り趣味を楽しんでいること、など... 曾野綾子さんは、その著書「老いの才覚」の中で、「人間は死ぬまで働かなくてはならない」と書くかたわら、「若い、病気を、死と馴れ親しむ」とし、「孤独と付き合うのは勇気がいる、自分を発見し、どんなことにも意味を見いだし、人生を面白がる」、そして「孤独と絶望こそ神から贈られた人生最後に十分味わうべき境地であり、立派な人間の完成像である」と述べています。まさにパラドックスですね。

こんな話を存じですか。象は餌を食べて、子象に餌を与え、自分は食べずに死んでいくそうです。ライオンは餌を食べて、自分だけが餌を食べて子象に餌を食べて死んでいくそうです。ライオンは餌を食べて、自分だけが餌を食べて子象に餌を食べて死んでいくそうです。



旅だち

今回の大震災で亡くなった老翁のご遺体が週刊誌のグラビアに載っていました。散乱した瓦礫の上で空を仰いでいる老翁の骸、裸足、握りしめられた拳、口は堅く閉じられています。目も閉じられており安らかな顔です。正に莊嚴。何を訴えているのか。死は生でもあるのです。(猿人)

肩ほぐし

毎日のボランティア活動お疲れ様です。活動や勉強で肩のこりに悩むあなたへ、ちょっとした軽い話題をお届けします。お気軽にお読みください。余り知られていない豆知識・地元の面白い話題など投稿歓迎です。(編集委員会)

「生きる」ということ 無縁社会の中で孤族時代と言われる今日この頃、配偶者を失った80歳以上の人たちは、多かれ少なかれ「死」というものを頭の隅に置いて生きています。「死ぬ」ということは生きるという「死」とつたり「死は生なり」という言葉があります。パラドックス(逆説)です。この転倒型の諺には、ご承知のように「医者不養生」「紺屋の白袴」「髪結いの乱れ髪」などがあります。「髪結いの乱れ髪」などがあります。つたり「死」を考へる者は、決して死後の世界や、死の意味するものをスピリチュアルに考へるのではなく、「生」とは何か」と「生きる」と「死」の意味を考へるべきだという教えなんですね。

東日本大震災復興ボランティア ナルクの絆は今②

ボランティア初体験 NHKで放映される

事、塩水に浸かった衣類や家具などの運び出しでした。家の人にとっては思い

東日本大震災から6日目、社会福祉協議会の人を含めた7人で、飯岡の被災地に行っていました。途中の惨状はテレビで見たとおりで、自然の脅威をまざまざと感じました。先方のお話によりまずと、津波は2度3度と襲ってきた大変な脅威だったようです。ボランティアの仕

飯山拠点の傾聴ボランティア

飯山拠点・小関京子

大震災の翌日、飯山の隣に位置する長野県栄村で震度6強の大地震が発生しました。豪雪地であり、高齢者の一人暮らしが多い栄村です。着

から、少しも被災者の方のお力になりたと思っています。翌日から炊き出しなどのお手伝いに出向き、傾聴ボランティアとして数カ所の避難所での活動を行いました。皆さんは雪が解ければ畑での作業を楽しみにしておられたのですが、畑の状態が不安なままです。不安を募らせておられました。今後、仮設住宅や自宅へ帰ってからの傾聴が必要ではないかと感じました。

災害支援チーム 日光に参加

飯山拠点では社協 4月6日から10日

被災被害者に初めのお会いしました

松山拠点・赤松正博

去る4月30日、松山に避難されてきた被災者の方をお尋ねしました。ご夫婦と3カ月の赤ちゃんを連れてきました。被災者の方をお尋ねしました。被災者の方をお尋ねしました。

生活していたための一助として、「声かけ運動」も実施しています。希望された3人の一人暮らしの方に定期的に電話をかけ安否確認を行っています。千歳の特筆すべき活動に「森の育て親活動」があります。

拠点リレー訪問 77

ナルク千歳訪問記

北海道の空の玄関口「新千歳空港」からJRに乗ると、7分「千歳駅」に着きます。徒歩約15分「ナルク千歳」が活動拠点として千歳市社会福祉協議会の建物があります。その1室で津幡重宏代表、小川太一代表、成富恵子事務局長をはじめ、多くの方々からお話を伺いました。



千歳市のボランティアフェスティバルで

北海道の空の玄関口「新千歳空港」からJRに乗ると、7分「千歳駅」に着きます。徒歩約15分「ナルク千歳」が活動拠点として千歳市社会福祉協議会の建物があります。その1室で津幡重宏代表、小川太一代表、成富恵子事務局長をはじめ、多くの方々からお話を伺いました。

津幡代表は「会員の目に見える関係作りと、情報の交換のために、会員が常時出入り可能な場所が必要です。私たちの活動を市民にも見えるようにして、ナルクの活動を浸透させ、知名度を上げていきたいと思っています」と語っています。



支笏湖の復興の森づくり支援

四季の湯

8月〜とくだみ

薄荷(はつか)には体の熱を奪うイメージがあります。血行促進や保温の効果があるので、あの清涼感、メントールという成分により、体を温める一方、入浴後の発汗は少なく、汗がさっと引くので夏のお風呂にはピッタリです。

HOW縁結び

東日本大震災後に結婚願望が高まっています。年内に合コンタイプの婚活を予定しています。お申し込みお待ちしています。担当安藤純子

介護サポーター新テキスト抜粋(3)

第2章 介護概論

在宅サービスの基本と心得

この章では「介護概論」と「サービス活動の心得とマナー」などを学びます。

介護概論の中身は介護の歴史、介護の定義、介護の原則などです。

「介護」という言葉のルーツは、色々な説があります。介助の「介」と看護の「護」を組み合わせたもの、と言つのが一般的です。高齢者や障がい者に対して行う「身の回りの世話」を介護と呼ぶ場合もあります。30年ほど前までは「看護」は資格を持つ者が行い、「介護」は素人が行うという考えでしたが、1987年に「社会福祉士及び介護福祉士法」が成立し、介護の専門的従事者に「介護福祉士」の資格が与えられるようになりました。

介護の定義も整理されつつある段階ですが、「身体及び精神障がい者に対して、食事や排泄、入浴などの援助をすること」というのが現在の定説です。

食事・排泄・入浴などの行為は、健康であつて障がいなければ、乳幼児以外は誰でも自分で行う行為です。ところが障がいを抱えることにより、介助する人がいなければ生活に重大な支障をきたすか、場合によっては生命の危機に遭遇するかもしれません。極めて切実性の高い行為といえます。

介護の基本原則は、個々の利用者によって異なる生活習慣や価値観を尊重することです。それがないと援助を進めていく上での信頼関係が失われます。また利用者の持つ能力に着目して、自分でできることの喜びを感じられるように支援することが必要です。

支援の心得として次の項目をあげています。

- ①丁寧な言葉と態度
- ②利用者の立場に立つ
- ③日常生活の中での体調の変化を見逃さない
- ④プライバシーの尊重、守秘義務
- ⑤家族、病院などへの連絡は正確迅速に
- ⑥チームを組んで支援するときは情報を共有
- ⑦政治・宗教を持ち込まない
- ⑧金銭を扱うときはお金と引き替えに預り書
- ⑨作業の確認と終了時の点検を家族に伝える

来月は第3章「高齢者の特性の理解」です。

読者の広場

俳句

「東葛」 伊与田澄
雑草にそれぞれの花
風眩し
茎立葉むなしき空の
続きおり
福島の空の青さよ
光太郎忌

川柳

「東葛」 甲斐教子
孫の顔 見て爺ちゃん命
倍に伸び
育つ孫 やりこめられて
婆嬉し
「堺」 川柳同好会
放射能先端技術もなく
川口厚子
被災地に
想いを馳せてエコくらし
同窓会
杖もつ人が多くなり
平山芳泉
散策は
皆の帰りを宿で待ち
谷友江

随想

写真の力を信じて
彦根 長谷部 哲
私は18歳の時、埼玉の
実家を出て愛知県の大学
に通い、診療放射線技師
として働いてきました。
この仕事では写すのは、
骨であったり内臓であつ
たりで、人の表情がなく、
何か抜け殻のような気が
してました。そこで28
歳の時に普通のカメラマ
ンに転職しました。
いま最も興味のあるの
は、お年寄りのもつ魅力
です。今回行っている高
齢者の撮影の原点はここ
にあると思います。

記者レポート

「和歌山」
拠点設立15周年記
念パーティー
和歌山拠点は5
月29日「元気を与
え、元気をもらい、
元気を確かめる」
をテーマに、拠点
設立15周年記念パ
ーティーを開いた。

「彦根」
写真撮影ボランティア
新しい活動として高齢
者の「写真撮影ボランテ
ィア」が始まりました。
毎月のお誕生会などで
記念写真を撮ってプレゼ
ントしようところから
始まります。さらにはグル
ープホームで共同生活さ
れている方に晴れ着を着
ていただいて「化粧療法」

「交野」
うたごえ喫茶の奉仕
とての活動も始めよう
と思つています。
撮影を担当するプロの
カメラマン長谷部さんに
右欄の「読者の広場」随想
欄で想いを語っていただ
きました。(木下二男)

「びわこ湖南」
琵琶湖1周ウォーク
第11回となる4月15日
は、JR永原からJR近
江今津を目指しました。
参加者は16名、午前の
目的地「海津大崎」に向
けて、JR永原を軽快な
足取りでスタート。
昼食は桜百選の「海津
大崎」で、湖岸一帯が桜
で埋まる北琵琶湖の春を
満喫しました。

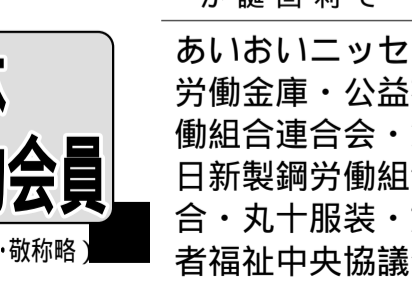
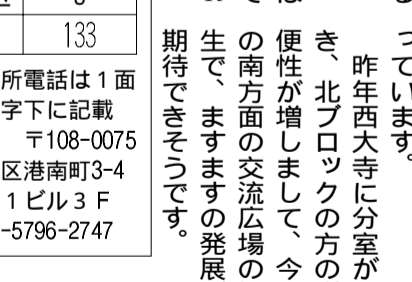
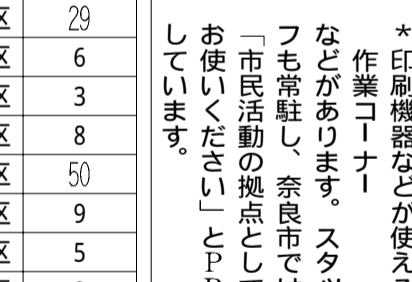
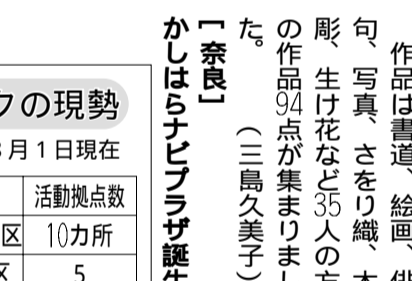
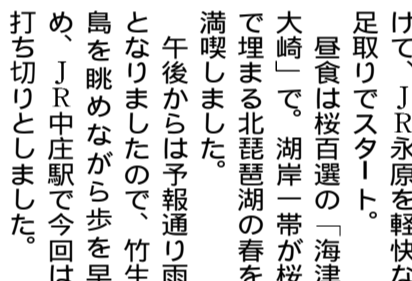
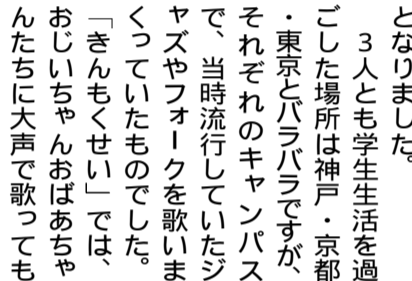
「奈良」
かしはらナビブラザ誕生
作品は書道、絵画、俳
句、写真、さをり織、木
彫、生け花など35人の方
の作品94点が集まりまし
た。(三島久美子)

「石巻から女川にて」
つじ咲く
避難せし山で冥福
5月14日から28日ま
で、エルホーム芦屋で第
1回ナルク芦屋作品展が
開催されました。

「朝のガレージおばさん」
寝屋川 西野外美
一昨年春から、我が家
のガレージ前に集団登校
の十数人の小学生が集ま
るようになりました。

「交流コーナー」
近鉄八木駅前5階建
でのビルが誕生、そこに
「市民交流広場」がオー
ンしました。

「交流コーナー」
約なして利用できる4人
掛けのテーブルが6つほ
どあり、喫茶店代わりと
しても利用できます。
そこでナルクでは、南
ブロックの地域密着活動
拠点としてこのコーナ
ーを活用していきたいと思
つています。



高畑敬一 会長や南阪和
地区拠点代表から祝福の
ことばがあり、近隣拠点
の活動内容の報告を受け
た。運営委員の玉置敦子
さんが代表のよさこいチ
ームが「YAPPA紀州」
など3曲を演奏、喝采を
浴びた。別所克世さんが
「グッパ―体操」を披露、
ビンゴゲームでは会員提
供の景品に加え、会員の
福西雅雄さんから大津絵

大津波
過去も未来も呑みこんで
青田かな
小樽は夏カットグラスが
ひびき合い
入日染む津軽平野の

ウエディングドレスを
着て写真撮影を行うこと
が、お年寄りの皆さんに
生き甲斐や喜びを提供で
きる一助になっていま
す。私はこの活動を通じ
て、お年寄りと接してき
て、この活動のもつ意義
や必要性を強く感じてい
ます。皆様も機会があり
ましたら、この撮影にご
参加ください。

東日本大震災の被災地を
見舞った。
海岸線に連なる惨憺た
る魚市場、鼻を突く強烈
な腐臭。数十メートルも
流され、壊滅しているビ
ルまたビル。その屋上に
ドンと乗っかっている大
型バスの哀れな姿。
とても言葉では言いつ
くせないのので、句にし
てみた。

仙台空港近くの田園で
広々と田は手つかずに
梅雨あけぬ
紫陽花と 廃車の山あり
滑走路
人気なく 内はからなり
梅雨の家

ビル流れ 瓦礫の山に
鯉のぼり
たんぼぼを 映して今は
海静か

前日の夜に作成します。
早く来た子から順に、全
員が集まるまで、漢字
パズル、数字パズル、地
理の問題を白板に向かっ
て楽しく解いています。
小さい鉛やチョコレート
なども用意しておきま
す。朝、手を振ってカバ
ンをカタカタ鳴らして走
ってくる子供。
「いただきます」「ど
うぞ」「今日の1時間目
はなあに」「国語です」
などと会話を交わしてい
るうちに、6年生のリー
ダーの「時間です」で、
2列に並び出発します。
「いってきまーす」
「いってらっしゃい」
さあ、今から私の1日が
始まります。

交流コーナーには、予
約なしで利用できる4人
掛けのテーブルが6つほ
どあり、喫茶店代わりと
しても利用できます。
そこでナルクでは、南
ブロックの地域密着活動
拠点としてこのコーナ
ーを活用していきたいと思
つています。

Table with 2 columns: 地域 (Region) and 活動拠点数 (Number of Activity Points). It lists activity points across various regions like Hokkaido, Tohoku, Kanto, etc., with a total of 133 points.

団体賛助会員 (Group Sponsor Members)
(5口以上・敬称略)
あいおいニッセイ同和損害保険・大阪ガス労働組合・亀岡病院・関西電力・関西電力労働組合・近畿労働金庫・公益社・サンヨー電機労働組合・CGCグループ・全電通近畿社会福祉事業団・全東レ労働組合連合会・象印マホービン・ダイハツ労働組合・東北電力・東北電力労働組合・東北発電工業・日新製鋼労働組合・パナソニック・パナソニックグループ労働組合連合会・パナソニック電工労働組合・丸十服装・妙見閣寺・ユアテックユニオン・U-Iゼンセン同盟・信和ゴルフメンテナンス・労働者福祉中央協議会・四国電力生活協同組合・日通旅行